

1まいのがようし



ながさか まさひろ/著
あかね書房〔エ〕

特集: 2022年に出版された本

アフリカのガーナにある、スラムの村では、お父さんの仕事を手伝うと約20円のお金がもらえます。そのお金で大きくておいしいキャンディが一つ買えるので、子どもたちは毎日働きます。

ある時、男が村をおとずれ、3人の子どもたちに「絵かきになりたいか？」とはなしかけ、1まい20円のがようしを買った子にだけ、絵のかきかたを教えようといいました。

3人の子どもたちは、それぞれちがう道を選びます。読み終わると小さな努力の積み重ねが、大きな夢をかなえていく力となることに気づくでしょう。

ワニのガルド



おーなり ゆうこ/作・絵
偕成社〔913オナ〕

ある朝、ヒナちゃんがねむい目をこすりながら、自分のみどり色の歯ブラシをくわえると、なんとそれは小さなワニだったのです。おどろくヒナちゃんの前で、ワニは大きくなり、自分はおばけのワニだということです。そして、ヒナちゃんの学校にまでついてきました。けれども、教室のみんなには、おばけのワニのすがたが見えないようです。

ひっこしてきたばかりで、ちょっぴりさびしいヒナちゃんと、おばけのワニの、心あたたまるお話です。

本おじさんのまちかど図書館



ウマ・クリシュナズワミー／作

ながとも けいこ 長友 恵子／訳

かわはら みずまる 川原 瑞丸／絵

フレーベル館〔933クリ〕

インドに住むヤズミンが、いつも楽しみにしていることは、近所の交差点にある本おじさんの「まちかど図書館」で本を借りること。

本おじさんは、いつもぴったりの日に、ぴったりの人に、ぴったりの本を選んでくれます。ある日、すすめられて借りたインドの昔話はどこが自分にぴったりなのか、ヤズミンにはわかりません。

そんなとき、誰かが苦情の手紙を出したので、本おじさんは「まちかど図書館」を続けられなくなってしまいます。ヤズミンたちは図書館を守るために、大きな計画を考えます。

ものづくりを学ぼう！

生きものすごワザ図鑑



オフィス 303/執筆

教育画劇〔504〕

ヒトの発明のなかには、動物や昆虫などの「すごワザ」をヒントに作られた物がたくさんあります。

新幹線500系の先頭車両は、カワセミの長いくちばしの形をヒントにつくられました。

ドローンの開発には上におしあげて浮かせる力が必要でした。研究者たちは体が小さいハチドリという鳥に注目し、飛び方を徹底的に研究しました。

生き物たちが、ものづくりのヒントになっていることに驚きます。